

1月21日 フィリピン諸島の地震

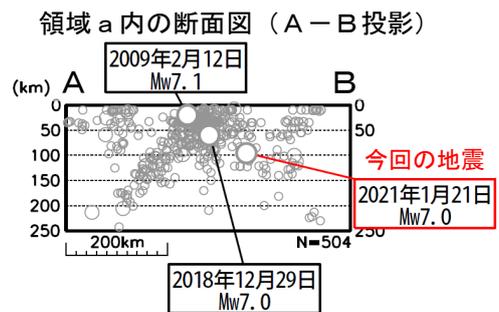
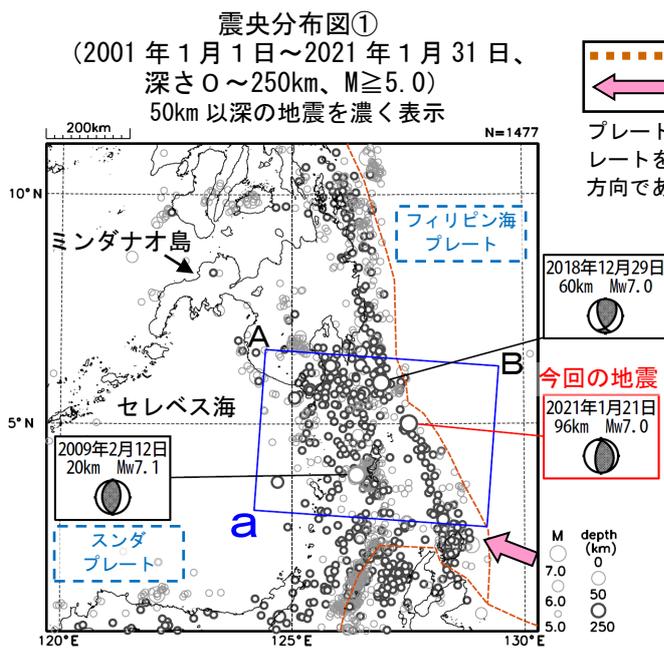
情報発表に用いた震央地名は「インドネシア付近」（詳しい震源の位置は「インドネシア、タラウド諸島」）である。

2021年1月21日21時23分にフィリピン諸島の深さ96kmでMw7.0の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ型（気象庁によるCMT解）で、フィリピン海プレートの内部で発生した。

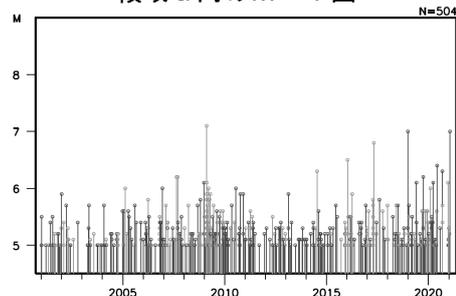
気象庁は、この地震に対して、同日21時47分に北西太平洋津波情報を発表し、同日21時51分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

2001年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。

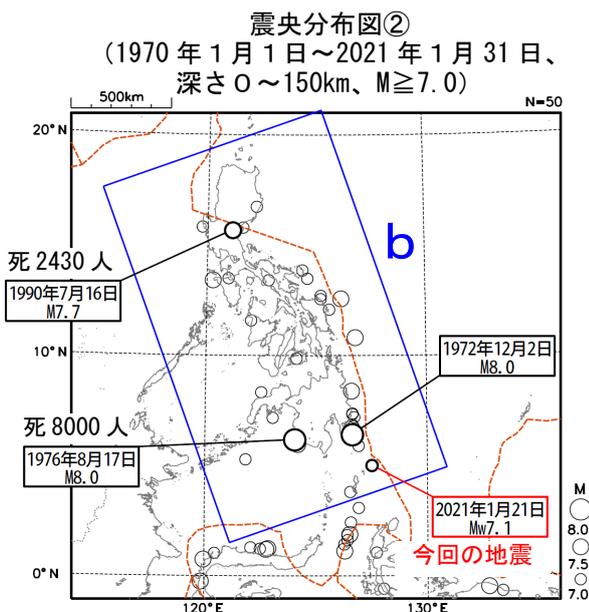
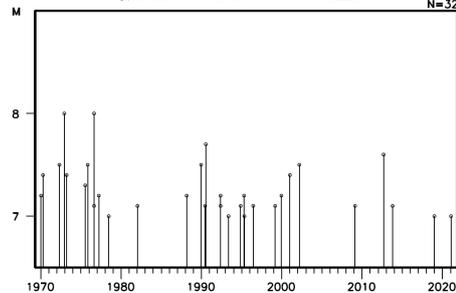
1970年以降の活動をみると、フィリピン諸島周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が時々発生している。1976年8月16日に発生したM8.0の地震では、この地震による津波が発生したほか、死者8000人の被害が生じた。



領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



※本資料中、震央分布図①内の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。但し、吹き出しの付いた地震の発震機構とMwについて、今回の地震及び2018年12月29日の地震は気象庁による、また、2009年2月12日の地震はGlobalCMTによる。震央分布図②内の2016年以前の地震の震源要素は国際地震センター（ISCGEM）、2017年以降の地震は米国地質調査所（USGS）による（2021年2月1日現在）。ISCGEMによる震源データの地震の規模はMwである。1976年8月17日の地震など吹き出しのある過去の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.